

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとおそぼう」

2025年5月21日 実施報告

参加者：親子12組（子ども12名）

担当：心理学部学生13名（プログラム実施・受付A2班7名 / 補助A1班6名）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

内容：「このはな、なにかな？」

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回はグループで制作した絵本「このはな、なにかな？」を元に、花束の作成、手遊びを行いました。はじめに、「このはな、なにかな？」の絵本の読み聞かせを行いました。読み聞かせの中で学生が「何色かな？」とお子さんたちに声をかけると、お子さんたちは「あか！」「みどり！」等と色の名前を元気よく答えてくれたり、登場した生き物の「ばいばーい！」と言うセリフに合わせて手を振ってくれたりしました。読み聞かせでは、生き物のプラカードを動かすことや、お子さんたちが学生と一緒に声を出す部分を作ることで、より絵本に興味を持って貰えるように心がけました。

次に花束作りを行いました。色とりどりのブーケ型の台紙に、折り紙で作った花やシールを貼ってもらいオリジナルの花束作りを楽しみました。小さなお子さんにはどの折り紙やシールを台紙に貼るか、お母さんと一緒に指をさして選んでもらいました。大きなお子さんには、「シールをはがして台紙に貼る」「ノリを塗った部分に合わせて折り紙を押さえて貼り付ける」という動きを入れて、少し難しい指先の細かな運動に挑戦してもらいました。色や配置など、個性豊かな花束が完成すると、お子さんたちは学生やお母さんたちに笑顔で作品を見せてくれました。

花束作りの後は童謡「ちゅーりっぷ」に合わせて手遊びをして遊びました。音楽が始まるとびっくりしたように目を丸くしていたお子さんたちも、リズムに合わせて手を叩いたり、体を揺らしながら学生の動きをじっと見たり、真似してみたり、それぞれ手遊びを楽しんでくれているようでした。

最後に、今回行ったプログラムが発達段階に対応した動きを組み込んだものであることを説明させていただきました。身の回りでお花を見つけたときに、お話のきっかけになれば幸いです。ご参加くださった保護者の皆様、ご協力いただいた先生方、スタッフの方々ありがとうございました。



文責：A2班 夜久、奥田、寺田、徳川、竹内、壽、鶴田

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2025年5月14日 実施報告

参加者：親子8組（子ども9名）

担当：心理学部学生14名（プログラム実施・受付A-1班7名 / 補助A-2班7名）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：遊びを通して季節を知ろう！！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、季節を知ることがテーマにいちごの製作とお花探しゲームを行いました。最初に、絵本『いちご』の読み聞かせを行いました。いちごの成長をお子さんたちにも感じてもらえるように、読み聞かせをしながら「いちごさんどこにいるかな?」「いちごさん大きくなったね!」など声かけをすることを意識しました。いちごの製作では、お子さんたちに赤い花紙を渡し、丸めて透明の袋に入れ、いちごの形を作ってもらいました。お子さんが両手で紙を丸めることができたり、保護者に手伝ってもらって袋に入れることができたりするたびに、「できた!」「じょうずね!」と声かけをすると、お子さんは笑顔になり、いちごを見せてくれるなど、いきいきとお返事を返してくれました。丸めたお花紙の大きさや袋に入れたお花紙の枚数によって、1人ひとり個性のある可愛らしいいちごができました。

お花探しゲームでは、お子さんたちに隠された「カーネーション」を探してもらいました。大きなお子さんにはボールプールに隠されたお花を、小さなお子さんにはマットでハイハイした先に咲いているお花を、それぞれ探してもらいました。見つかったカーネーションは親御さんにプレゼントしてもらい、そのお返しに親御さんからお子さんにハグをしてもらいました。お子さんも笑顔になったり、少し驚いたような表情を見せたりと、親子で楽しんでくださっているようでした。

最後にプログラムの目的である機能遊び、遊びの発達について説明しました。本プログラムがご自宅での遊びの参考になれば幸いです。ご参加、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



文責：A-1班 高村、大島、布川、リン、戸出、石田、阪口